

河田嗣郎 （河田） 經濟學・社會學者、法學博士。明治十六年四月（二十）
山口縣生れ、昭和十七年五月（二十一日）歿（八三—一九四二）。號伏龍窟、
冰谷、冰谷學人、馮虛室、紫浪、靜觀堂主人等。明治四十年京都帝國
大學法科大學卒。國民新聞社入社、大正元年歐米留學、七五年京都大
教授を経て、昭和二年大阪商科大学學長となり、學内の經濟研究所を
創設、門下の聖正巖、菅野和太郎等と共に『經濟學辭典』全六卷・追
補一卷（大阪商科大学經濟研究所編、昭和五年十一月十五日—二十一年
十月）二十日岩波書店）を完成した。

著書に、『社會問題及社會運動』（大正八年六月十日岩波書店）、『婦
人文化講座・第一輯』（他）三名合著、大正十一年九月八日大阪・朝日
新聞社）、『農業労働と小作制』（大正十一年十一月十五日岩波書
店）、『現代の社會と經濟』（大正十五年八月十日岩波書店）、『新
説と探る』（合著・東京日新新聞社經濟部編、昭和十年六月（二十日）日
本評論社）、『社會組織と社會政策』（昭和十七年八月（二十五日）日
本評論社）、『靜觀抄』（昭和十七年十一月十日大阪・四喜恭）一編刊）
等。『河田博士追憶記』（昭和十七年十一月（二十日）大阪・四喜恭）一
編刊）あり。

